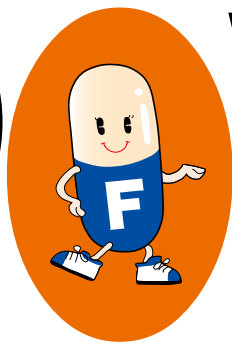


POWER!



2024年 7月 vol. 90

令和6年(2024年) 7月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 4月、7月、10月、1月

<https://www.yakuren.jp>

令和6年度 第1回全国会長・幹事長拡大会議が開催される

令和6年5月30日(木)、東京日本橋において全国会長・幹事長拡大会議が開催された。橋本常任総務の司会で開会され、岩月会長より「目標を達成するために逆算して課題を共有し取り組んでいく」と挨拶があった。

続いて、本田あきこ参議院議員よりご挨拶いただき、公務のため出席が叶わなかった神谷政幸参議院議員のメッセージが司会より読み上げられ、川田幹事長より、今期より新たに就任した都道府県会長、幹事長の紹介があった。



議事に入り、岩月会長より活動報告として、4月1日付けで新たに選任された役員、顧問、相談役について、丹羽副会長からは役員の会務分掌、委員会委員、令和6年度年間主要会議開催予定について、川田幹事長より6月5日開催予定の薬剤師首長・地方議員意見交換会について、丹羽副会長よりブロック協議会の開催について説明があった。続いて、丹羽副会長より都道府県薬剤師連盟主催「若手指導者育成フォーラム」について、原口副会長よりSNS活動方針、薬連

タイムズの公開内容等広報活動について、丹羽副会長より会務報告、川田幹事長より自由民主党薬剤師問題議員懇談会の最新名簿及び総会開催について説明があった。

続いて行われた質疑応答において、奈良県後岡会長より議員懇談加入依頼をしている議員について、福島県長谷川会長より若手指導者育成フォーラムについて、秋田県安田幹事長より全国若手薬剤師フォーラムの参加対象者について、大分県山田副幹事長よりみらい戦略委員

会の方向性、webを活用した幅広いアプローチについて、和歌山県大桑幹事長よりJPLを担当する委員会について質問がなされ、執行部より回答があった。

協議では、大澤副会長より責任負担金について説明があり、和歌山県稲葉会長、三重県西井会長より意見があった。

最後に、川田幹事長より、「各都道府県で積極的に会合を開催して欲しい、選挙にウルトラCはない」との閉会の挨拶があり本会議は終了した。

自由民主党薬剤師問題議員懇談会世話人会並びに総会が開催される!

令和6年6月3日12時から、自由民主党薬剤師問題議員懇談会世話人会並びに総会(会長・鈴木俊一参議院議員)が自由民主党本部で開催された。

世話人会は、事務局長を務める本田顕子参議院議員の進行で始められた。鈴木俊一会長の挨拶に続いて、都道府県薬剤師連盟から推薦された新規入会希望議員の入会及び会計報告が諮られ、了承された。続いて、山本日本薬剤師会会長、岩月日本薬剤師連盟会長より、薬剤師・薬局の抱える課題等についての説明とともに、引き続きご支援を賜りたいと挨拶がなされた。

薬剤師問題議員懇談会総会は、自由民主党本部で13時から開催され、86名の国会議員、108名の代理人が駆けつけた。鈴木俊一会長の挨拶、新規入会議員の報告及び会計報告がなされ、続いて、世話人会と同様に、日本薬剤師会より課題と

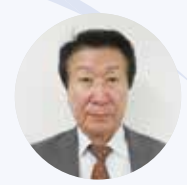


要望が説明された。特に、薬価基準の中間年改定は薬物療法の維持・確保に影響を及ぼすことが懸念される点、規制改革に関する事案については薬剤師の必要な指導・説明を伴った形での提供・販売が重要である点、次期の薬機法改正については審議会検討会による「とりまとめ」に沿った対応を行なっていただきたい点



医療DXについては薬局起点の情報の取り扱いや薬局のDX化も含む形で進めていくこと等を要望した。参加の議員からは能登半島地震におけるモバイルファーマシーを含む薬剤師の活動に対する感謝や中間年改定の見直しに関する意見をはじめ活発な意見交換が行われたのち、閉会となった。

風力計



日本薬剤師連盟 副会長 丹羽 松弘

目標を考え実現しよう。

私は旅行が好きです。今まで行ったことのない土地の景色を見たりその土地のおいしいもの食べたりすることは私の最高の幸せです。北は北海道から南は九州、沖縄、47都道府県で行ったことのあるのは何処かと考えてみたところ、なんともう全ての都道府県に行っていることがわかりました。

さて次はどこに行こうかと考えた。そう、日本の最東西南北端に行ってみよう!と思い、一昨年は北海道の稚内の宗谷岬(最北端)と根室の納沙布岬(最東端・北方四島があるので最東端の碑はありません)で行きました。そして、昨年は石垣島から飛行機で与那国島(最西端)と船で波照間島(最南端)に行き、人が住む日本の最東西南北地にすべて行くことができ、何か特別な達成感がありました。今までの私の旅行は「行ったことがないから行ってみようかな」くらいの感覚でしたが、ちゃんとした目標を持って旅行した今回は何倍もの達成感がありました。

ただ毎日の生活を繰り返すのか、それとも目標をもって生活をするのかでは違うと思います。みなさんの今の目標は何ですか。人それぞれ違うと思いますが目標を立ててみませんか。薬剤師として今地域住民のために何ができるのか。薬剤師としてこれから地域住民のために何をしたいのか。それを実行するためには法的根拠とそれに見合う収入も必要です。薬剤師みんなでこれからの薬剤師の目標を考え実現して行きましょう。

薬剤師首長・議員一覧 2024

薬剤師首長・地方議員が集結！ 意見交換会開催

6月5日(水)東京日本橋にて令和6年度薬剤師首長・地方議員意見交換会が開催され、全国から27名の薬剤師首長・地方議員が参集した。

会議では、冒頭、岩月会長より「全国の地域で活躍する薬剤師と情報交換してよりよい地域社会を作っていただきたい。そしてその輪を大きく広げていきたい。」と挨拶があった。続いて、執行部から「日本薬剤師連盟の現状報告」の後、出席の薬剤師首長・地方議員の皆様から日々の活動のご報告、薬剤師や薬剤師連盟へのご意見やご要望をお話しいただいた。会場には、逢坂誠二衆議院議員、本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員も駆けつけ、ご挨拶いただいた。

この意見交換会は、地域医療の未来について意欲的に議論が交わされる貴重な機会となった。

※当日出席された首長・地方議員からは本記事掲載の「首長・議員としての意気込みや地域で活躍する薬剤師へのエール」の一言コメントをいただきました。

中国



●浜田市議会議員
川神 裕司

地域医療の将来に影！薬剤師旋風で光を当てる！



●総社市議会議員
村本 理英

グローバル化する現在、今こそ地方の特性を生かすべき。



●安芸高田市議会議員
山根 温子



●周南市議会議員
小池 一正

国会議員



衆議院議員
立憲民主党
逢坂 誠二



参議院議員
自由民主党
本田 顕子



参議院議員
自由民主党
神谷 政幸

北海道



●赤平市議会議員
北市 勲



●滝川市議会議員
荒木 文一



●網走市議会議員
永本 浩子

薬剤師パワーで、医療・福祉の充実へ全力投球!!

東北



●大原町長
齋 清志



●山形市議会議員
齊藤 栄治

職能を発揮して、well-beingな地域づくりに貢献を。

近畿・大阪



●大阪市議会議員 辻 淳子
●大阪市議会議員 鈴木 理恵
●茨木市議会議員 河本 光宏
●忠岡町議会議員 尾崎 孝子
●草津市議会議員 福田 茂雄
●太子町議会議員 北川 嘉明
●高野町長 平野 嘉也

地域共生社会実現に向け、薬局に期待しております。

薬剤師議員として、住民目線で頑張ります。

地域の声に応え寄り添い、行政への要望を積極的に届けます。

九州



●福岡県議会議員 江頭 祥一
●唐津市長 峰 連郎
●長崎県議会議員 宮本 法広
●長崎市議会議員 澤勢 瑞城
●玉名市議会議員 北本 将幸

“健康長寿日本一の長崎づくり”を目指します。薬剤師の先生方、ともにがんばりましょう！

これからも地域医療のためご尽力賜りますようお願い申し上げます。共にたたくって参りましょう。

薬剤師のこれからを共に創って行きましょう！



●荒尾市議会議員 多田 隈
●鹿児島県議会議員 寶来 良治
●薩摩川内市議会議員 阿久根 憲造
●鹿児島県議会議員 池畑 知行

北陸信越



●金沢市議会議員
宇野 裕基

四国



●香川県議会議員
宮岡 陽子

がんばる薬剤師が輝ける社会を！

関東・東京



●茨城県常総市議会議員 遠藤 章江
●栃木県議会議員 山口 恒夫
●群馬県桐生市議会議員 小島 強
●千葉県市原市議会議員 小沢 美佳
●千葉県茂原市長 市原 淳



●千葉県香取市議会議員 藤本 裕士
●千葉県成田市議会議員 葛生 孝浩
●千葉県神奈川町議会議員 山崎 真弘
●千葉県神奈川市議会議員 春 孝明

あなたにとって、身近なかりつけ議員として、全力投球。

久しぶりに逢坂先生が岡田幹事長らの政治資金パーティーの企画に喝!! アッパレさすが薬剤師

東海



●岐阜県岐阜市議会議員 川上 哲也
●岐阜県山県市議会議員 河合 雅俊
●愛知県豊田議会議員 稲本 和仁
●愛知県高浜市議会議員 北川 広人
●愛知県東海市議会議員 井上 正人



●愛知県一宮市議会議員 中村 一仁
●愛知県みよし市議会議員 寺本 弘子
●愛知県半田市議会議員 神原 瑞輝
●三重県議会議員 松浦 慶子

行政と地区薬剤師会と連携し、地域医療の推進に努めてまいります。

都道府県支部訪問始まる

《本田あきこ全国支部訪問》

埼玉県 令和6年5月23日(木)~25日(土)

5月23日(木)浦和にて開催された埼玉県薬剤師会理事会で、本田あきこ参議院議員の政治理念、活動、人柄を伝え、薬剤師国会議員が必要であることを会員並びに薬局スタッフに知っていただくことを目的とする今回の活動への協力を呼び掛けた。現職の国会議員である本田あきこ議員が全国支部訪問を行うことが難しいことから私たちが伝えることが大切と訴えた。その後川越に移動し、川越薬剤師会約30人の集会に参加、浦和と同様に三つ折りパンフ・紹介者名簿・支援者名簿について説明し、終了後熊谷に移動した。

5月24日(金)アルフレッサ熊谷支店・東邦薬品熊谷営業所・埼玉県医薬品卸業協会を訪問、朝礼にお邪魔して本田あきこ参議院議員について名刺・パンフを渡し伝えた。大宮駅に移動し、富士薬品大宮本部訪問挨拶、次に武蔵浦和に移動して高田製薬本社訪問。その後宮代町へ移動し、セキ薬品本社訪問挨拶、春日部へ移動して支部長のファーマシーいまい薬局訪問。獨協大学前へ移動し、草加連盟支部長の草加調剤薬局訪問。越谷へ移動し、越谷中央市民会館にて越谷支部集会に参加し、斉藤会長と共に本田あきこ参議院議員への支援を呼び掛けた。5月25日(土)所沢支部集会を田辺薬局で開催、名刺パンフを配布して本田あきこ参議院議員への協力をお願いした。各地区の反応は良く、薬剤師本田あきこの名前を知ってもらう活動は引き続き必要であると感じた。

日本薬剤師連盟役員一覧

(任期:令和6年4月1日~令和8年3月31日)

2024年6月10日現在

会長	岩月 進	愛知	総務	竹本 貴明	広島
幹事長	川田 哲	神奈川	総務	田城 涼子	福岡
副会長	大澤 泰輔	兵庫	総務	千葉 恵子	青森
副会長	荻野 構一	新潟	総務	角田 俊人	北海道
副会長	丹羽 松弘	愛知	総務	福森 一真	宮崎
副会長	浜田 嘉則	高知	総務	山原 大輝	大阪
副会長	原口 亨	福岡	総務	渡邊美知子	女薬
副幹事長	大原 整	滋賀	総務(北海道)	有澤 賢二	北海道
副幹事長	中原 靖明	山口	総務(東北)	白滝 貴子	青森
常任総務	今井 章人	茨城	総務(関東)	杉浦 邦夫	千葉
常任総務	小山 明俊	宮崎	総務(東京)	永田 泰造	東京
常任総務	加茂 雅行	宮城	総務(北陸信越)	吉田 英樹	富山
常任総務	丹下 富博	愛知	総務(東海)	藤本 修嗣	三重
常任総務	橋本 昌子	石川	総務(大阪)	乾 英夫	大阪
常任総務	馬場 孝道	東京	総務(近畿)	河上 英治	京都
常任総務	丸目 新一	熊本	総務(中国)	吉田 力久	山口
総務	和泉啓司郎	病薬	総務(四国)	西森 康夫	高知
総務	小屋敷淳子	山口	総務(九州)	佛坂 浩	佐賀
総務	澤井 康行	静岡	監事	内野 悟	鹿児島
総務	芝原 由典	京都	監事	内藤 貴夫	山梨
総務	高橋 正夫	東京	監事	村松 章伊	愛知

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



通常国会閉会

6月23日、第213回通常国会が閉会しました。

能登半島地震の復旧・復興支援等の災害対策、物価対策・賃上げ対応、政治資金問題などが争点となりました。今国会では、引き続き大臣政務官でしたので、所属委員会での質疑の機会はありませんでしたが、政府答弁は衆参あわせて9回行いました。

自民党の厚生労働部会では、令和6年度の「3報酬改定」と「薬価改定」の方向性が決着した直後の1月の段階から、薬価中間年改定の取扱いを部会の最優先事項にするよう発言し、紅麹使用食品の問題が生じた後の4月には、食品の安全と国民の健康を断固守ることに加えて、風評被害を生じさせないための情報発信の必要性を訴えました。

そして6月、政権の重要課題や次年度予算・税制改正などの足がかりとなる「骨太の方針」の政府原案に対して、薬局DX推進、中間年改定、費用対効果評価、抗菌薬等の産学官連携での開発についての修正を神谷議員とともに求めました。閣議決定された文書に意見の全てを反映できたわけではありませんが、関係者の皆様の声と私自身の政策に少しは近づけることができました。

参議院議員として丸5年が過ぎました。薬剤師、薬業界及び薬学を取り巻く情勢が依然厳しくかつ今後も大きく変化・進化していく中、未来に進むには歴史を知ることも大切だと思います。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」(オットー・フォン・ビスマルク元独宰相)

偉人の言葉を自身に言い聞かせながら、国会閉会中も一つひとつ真摯に対応する毎日ですが、これからもよろしく願い申し上げます。

政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



骨太の方針2024について

骨太の方針2024(経済財政運営と改革の基本方針2024)は、令和6年6月11日に開催された第8回経済財政諮問会議で原案が示されました。これを受けて自民党では6月12日の8時から厚生労働部会が開催され、私と本田顕子先生は、四大臣合意が行われた平成28年はデフレ下であり、医薬品の供給不足や物価高騰等、当時と状況が異なっていることを強く訴え、中間年改定については、廃止若しくは見直しを行うべきと主張しました。さらに、電子カルテの導入や電子カルテ情報の標準化に加えて、薬局における電子調剤録(服薬情報)の導入や当該情報の標準化の追記を求めました。

同日15時から開催された政調全体会議において、大申正樹厚労部会長から、中間年改定の廃止等に加えて、医療DXの記載箇所薬局が抜けていることを指摘のうえ、調剤録等薬局のDX化の追記を求めていただきました。

6月17日の政調全体会議で示された修正案には「2025年度薬価改定に関しては、物価上昇などを取り巻く環境の変化を踏まえ、その在り方について検討する」という文言と、「調剤録等の薬局情報のDX・標準化の検討を進める」という記述が追記されました。同会議において、私から改めて中間年改定の廃止を求めると共に、医薬品の供給問題については早期に解決する旨が欠落していることを指摘し、文言の追加を求めたところ、6月21日に閣議決定された骨太の方針2024に「足下の医薬品の供給不安解消に取り組む」の文言が追記されました。

本田顕子先生は文科省の政務官を務めておられますので、厚労部会では発言できませんが、政調全体会議で政務三役は発言できません。今回の対応で、薬剤師議員が2人いることの重要性を改めて認識しました。これからも本田顕子先生と共に頑張ってください。

編集後記

秋祭りの準備が始まる時季となってきました。岸和田市では9月に34台、10月に47台のだんじりが曳行(えいこう)されます。また、周辺の市町でも同時期にだんじりの曳行が行われています。

テレビのニュースでは、交差点などで勢いよく曲がるやまわりや市内を駆け巡る様子を取り上げられることも多くなり、全国的によく知られた祭りとなりました。2日間で約50kmを走るのですが、夕方には提灯をつけてゆっくりと練り歩きます(火入れ曳行)。日中の喧騒とは全く違い、優美で華麗な景色で全くの別世界に感じられます。

このだんじりですが、かなりの芸術作品であることをご存じでしょうか。なかなか間近でだんじり自体を見られたことのある方は少ないかもしれませんが、だんじりには、1周をぐるっと上から下まで、戦国時代の合戦や物語などを題材にしたものや霊獣などの繊細な彫刻が施されています。彫刻は、武将の表情や動物の動きが手に取るようにわかるほどで、細かい弓や刀までも施されています。テレビや遠目では見ることができませんが、火入れ曳行時には、だんじりの近くにも寄れますので、間近でだんじりを見たり、身体の芯に響く太鼓や鐘の音も感じたりすることが出来ます。見物に現地まで足を運んでみてはいかがでしょうか。

広報委員

原口 亨、丹羽 松弘
 浜田 嘉則、橋本 昌子
 和泉啓司郎、小屋敷淳子
 山原 大輝、渡邊美知子

(D・Y)